

イギリスで発見された幼竜を孕んだ最大のイクチオサウルス化石

イクチオサウルスは魚竜に属する大型爬虫類である。体型はイルカに似ている。2.5億年前に出現し、9000万年前に絶滅している。陸上に生息していた爬虫類が海棲になったとされる。その出現は恐竜の出現よりも2000万年早かった。

イクチオサウルスは魚竜のなかでは代表的な分類群で、ジュラ紀前期に生息していた。イギリスで発見された新たな化石はサマセット海岸の約2億年前の地層から産出したもので、ドイツのハノーバーの自然史博物館に所蔵された。最近、イギリスとドイツの古生物学者がこの化石を記載した[1]。体長は3メートルを超え、イクチオサウルスのなかまでは最大であった。イクチオサウルスは卵胎生で、腹のなかで卵を孵化させてから生むことが知られていたが、この化石からも体長7センチ足らずの胎竜を孕んでいることもわかった。



イクチオサウルスの化石はイギリスではよくみつかるといわれる種類である。最初の発見は19世紀のメアリ・アニングがドーセット海岸でみつけたものであった。記載された標本は1990年代に発掘され、ドイツのハノーバーの博物館に所蔵されていたものだという。こうした貴重な化石が博物館に未記載のまま所蔵されていたことに、博物館の関係者も驚いているという。

[1] Lomax, D.R. and S. Sachs (2017) On the largest ichthyosaurus: A new specimen of *Ichthyosaurus somersetensis* containing embryo. *Acta Palaeontologica Polonica*. DOI:10.4202/app.00376.2017